

市内保育所・園、幼稚園、小中学校の保護者の皆様、地域の皆様へ

教育センターだより【12号】

平成31年1月16日 発行



518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

[minakuru01@nabari-mie.ed.jp](mailto:minakuru01@nabari-mie.ed.jp)

適応指導教室(さくら教室) 2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0595-63-7830

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

ホームページ <http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

## 学校・保護者・地域が協働して

～コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育～



昨年12月1日(土)に開催された「教育フォーラム in なばり 2018」では、約970名の皆様にご来場いただきました。午前中の講演会では、「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」と題して、文部科学省初等中等教育局 貝ノ瀬 滋 視学委員よりご講演いただきました。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会設置校)とは、未来を担う子どもの豊かな成長のために学校・地域・保護者が連携・協働し、子どもの成長を支えていく仕組みです。現在、名張市においては、小学校6校と中学校2校がコミュニティ・スクールとなっており、残る11校についても、立ち上げに向け準備を進めているところです。

また、小中一貫教育については、昨年4月より南中学校区において本格実施しており、他の中学校区においても、平成32年4月からの本格実施に向けて準備を進めています。名張市における小中一貫教育では、小学校の教職員と中学校の教職員が子どもの9年間の学びと育ちを見通し、それぞれの中学校ブロック別に系統的・継続的な教育カリキュラムの編成、児童生徒の発達段階に応じた指導、異学年間での交流、教員間の緊密な情報交換や相互乗り入れによる児童生徒の把握、小学校での教科担任制などに取り組んでいく予定です。



講演会では、コミュニティ・スクールおよび小中一貫教育について、その必要性や成果・課題等幅広い観点でお話いただきました。名張市の取組についても、「しっかりとねらいを持っていることが、小中一貫教育の肝。ねらいを共通理解しながら学校・保護者・地域が協働して取り組んでいくことが成果につながる。」と力強い後押しをいただきました。

## 「なばり学」に楽しく取り組んでいます！

名張市では本年度、市内の小学校1年生から4年生までの児童にふるさと学習「なばり学」学習資料集《上巻》を配布し、名張について学ぶ「ふるさと学習」を進めています。



赤目四十八滝を訪れ、ボランティアガイドから案内を受けました。トイレは富士山にも設置されている循環式のものだそうです。



美旗古墳と観阿弥創座の地への訪問。観阿弥ふるさと公園にある能舞台上がりしました。



長瀬地区にある、県の天然記念物に指定されているヒダリマキガヤの説明を地元の方に聞きました。



近鉄電車の開通を祝って作られた「名張音頭」。保存会の人に見せてもらいました。

ふるさと学習「なばり学」は、地域の方にゲストティーチャーとして協力いただき、学校ごとに工夫しながら取組を進めています。また、教育センターでは、ゲストティーチャーの研修を行ったり、映像コンテンツを作成したり、学校の要望に応じてさらに詳しく学べるような支援も行っています。来年度は学習資料集《下巻》を発刊する予定で、市内すべての小中学生が「なばり学」に取り組みます。

## 子どもセンター内で不審者対応訓練実施！！

12月21日（金）に、子どもセンター内の施設が合同で、館内に不審者が現れたときの対応訓練を行いました。不審者に扮した名張警察署の方は、演技とは思えない暴れぶりで、なかなか思うようには対応できませんでした。警察の方には「訓練を繰り返し、対策を考えておくこと、必ず複数で対応すること、さすまたの使い方」など、詳しくお話を頂きました。また、子どもセンター内における、今後の緊急対応についても相談に乗っていただきました。誰もが安心して利用できるセンターであるために、これからも訓練を続けていきたいと思えます。

